

○第 52 回遠野市乗用馬市場

10 月 14 日(火)、第 52 回遠野市乗用馬市場が開催されました。上場馬 16 頭中 7 頭（遠野産 3 歳馬 1 頭&2 歳馬 3 頭、管外産 3 歳馬 1 頭&2 歳馬 2 頭）の購買が成立、全体の購買率は 43.8%という結果になりました。



セリ最高値だった遠野産 2 歳牝馬のスピカ

○未来に夢を託す 1 歳馬

今回のセリには遠野産 2 頭と管外産 3 頭、計 5 頭の 1 歳馬が上場されましたが、すべて主取りとなりました。購買者側には「1 歳馬ではまだよくわからない」という思いがあるようですが、「2 歳まで手元に置いて成長を見守ってみたい」という生産者からの声も聞かれました。馬は 1 年で大きく成長し、馴致調教を進めるうちに見違えるような馬になっていきます。今年の 1 歳馬たちは、どのような馬に成長していくのでしょうか。来年在望です。



今年上場された 1 歳馬たち（遠野産・管外産）

○新たな乗用馬生産へ



セリの助っ人に駆け付けた

遠野緑峰高校馬事研究会の皆さん

今年のセリは例年のセリとは違う点がありました。その一つが遠野および他地区で繋養されている種牡馬の産駒、さらに海外のいろいろな種牡馬の凍結精液によって誕生した馬も出場し、上場馬の血統が多彩になったことです。もう一つは、女性の生産者が増えたことです。輸入凍結精液による乗用馬生産ができるようになり、各馬関係の施設でも女性が人工授精士となって生産に関わるようになりました。今後の日本の乗用馬生産は、新しい局面を迎えようとしていると感じます。遠野でも近い将来、女性の馬生産者が増えて、新たな遠野産馬をセリに送り出す時代が来るかもしれません。

遠野馬通信

馬産地遠野とホースマンを結ぶ
情報誌

No.108

2025 年 11 月 1 日